

南城市地域公共交通再編実施計画の改定概要

令和7年11月

南 城 市

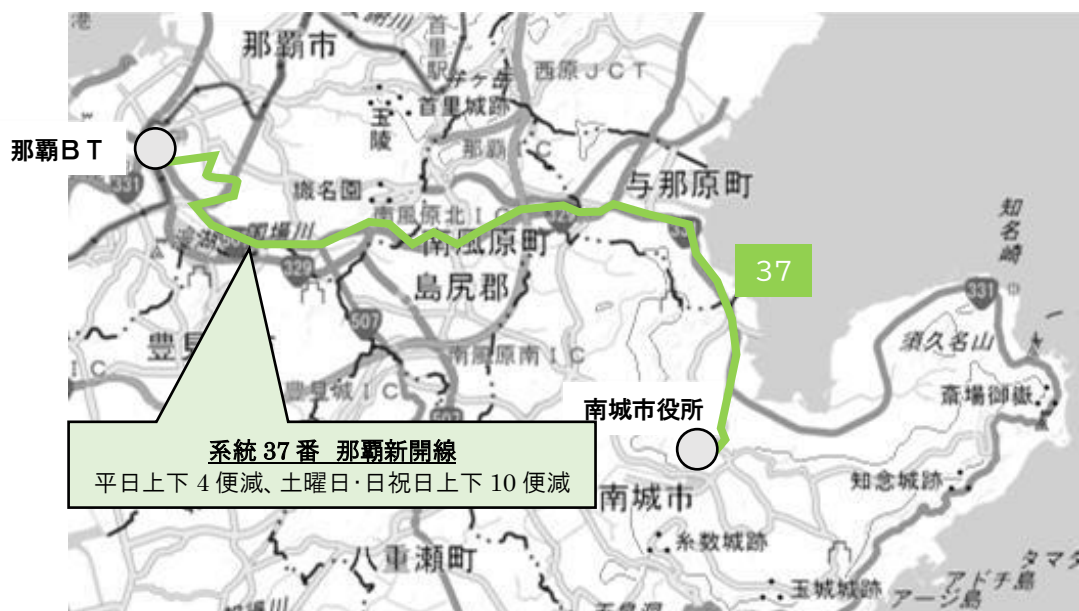
1 見直し内容

1.1 見直し概要

- 運転手不足に対応するため、2025年12月8日から東陽バスの系統37番で土曜日・日祝日を中心に、減便を行います。
- また、車両通行の安全確保を図るため、最終便の志喜屋集落内の通行を、国道経由に変更します。

表 1.2025年12月の見直し内容

区分	系統	見直し内容	
支線バス（Nバス）	—	見直しなし	
幹線バス （路線バス）	国道331号（佐敷・知念方面）	減便 平日：25便→21便（▲4便） 土曜日：28便→18便（▲10便） 日祝日：28便→18便（▲10便） ※上下あわせた便数	
	—	志喜屋地区の運行ルートの見直し 最終便の集落内の志喜屋バス停着を国道経由に変更	
	県道48号線・86号線（大里・玉城方面）	—	見直しなし
	国道331号・県道17号線（玉城方面）	—	見直しなし
県道77号（大里方面）	—	見直しなし	



1.2 幹線バスの見直し

(1) 国道 331 号（佐敷・知念方面）

- 国道 331 号（佐敷・知念方面）では、系統 37 番で平日上下 4 便、土曜日・日祝日で上下 10 便の減便を行います。
- 系統 38 番は、最終便の志喜屋集落経由を国道経由に見直します。

表 2.国道 331 号(佐敷・知念方面)の再編概要(1/2)

系統番号	系統名	平日便数	事業者	2019 年度再編	2020 以降の再編	備考
37 番	那覇新開線	32 便	東陽バス	新里～馬天営業所行、新里～市役所行に分岐し、ほとんどの便が南城市役所発着。	南城市役所発着	2023 年 2 月、9 月、2024 年 9 月、2025 年 12 月に減便。
38 番	志喜屋線	32 便	東陽バス	朝夕のみ運行し、斎場御嶽発着の系統 338 番を新設。	同左	2023 年 2 月、9 月に減便。2025 年 12 月に志喜屋地区のルート変更
338 番	斎場御嶽線	—	東陽バス	斎場御嶽発着で、斎場御嶽線を新設。	同左	2023 年 2 月、9 月に減便。
39 番	百名線 ※再編後は南城線	46 便	沖縄バス	南城市役所発着に変更。	市内は同左 2022 年度に一部便が豊見城営業所まで運行区間を延長	2020 年度より増便、2024 年 4 月に減便、2025 年 4 月に減便。
339 番	南城～結の街線	—	沖縄バス	南城市役所発着で、結の街線を新設。	市内は同左 2022 年度に壺川経由に運行。	2020 年度より増便、2024 年 4 月に減便、2025 年 4 月に増便。
41 番	つきしろの街線 ※再編後はつきしろの街(百名経由)線	10 便	沖縄バス	南城市役所発着～西つきしろ間～百名～市役所に運行区間を延長。	2022 年度に廃止、39 番に統合	

表 3.国道 331 号(佐敷・知念方面)の再編概要(2/2)

系統 番号	系統名	平日 便数	事業者	2019 年度再編	2020 以降の 再編	備考
191 番	城間線	32 便	東陽 バス	変更なし。	新里～馬天営業 所間から新里～ 南城市役所に経 路を変更。	事業者にて、南城市役 所までの乗り入れ可能 性を検討。 2022 年 11 月の系統 391 番の新設に伴い 減便。2024 年 9 月に 減便 ※系統 91 番は 2018 (平 成 30) 年 12 月 22 日に廃 止し、系統 191 番へ統合
391 番	城間線	—	東陽 バス	—	2022.11 新設	2024 年 9 月に減便



図 1.国道 331 号(佐敷・知念方面)の幹線バスの再編内容

2 収支の見直し

2.1 再編事業の事業費

(1) 支線バス

●支線バスの事業費は、今回見直しで変更がないため、前回見直しの2025年4月（沖縄バス再編）と同額です。

表 5-1.2025 年 12 月（東陽バス）見直し時の支線バスの事業費

系統番号	運行主体	運行区間	車両	運転手	事業費 (千円)
A1:佐敷・知念・百名線 A2:百名・知念・佐敷線	沖縄バス	市役所～馬天～佐敷～安座真～志喜屋～百名～親慶原～市役所	2	4	33,000 /33,000
B1:佐敷・ニライカナイ橋・つきしろ線 B2:つきしろ・ニライカナイ橋・佐敷線	沖縄バス	市役所～親慶原～安座真～佐敷～馬天～市役所	1	2	26,300 /26,300
B3:つきしろ線	沖縄バス	市役所～東つきしろ～市役所			300 /300
C1:玉城・大里線 C2:大里・玉城線	沖縄バス	市役所～親慶原～百名～奥武～船越～稲嶺～仲程～大城～市役所	2	4	28,500 /28,500
D1:玉城東回り線	沖縄バス	玉城東地域を回る通勤・通学ルート	1	1	1,800 /1,800
D2:玉城東回り線（向陽高校経由）	沖縄バス	玉城地域及び向陽高校下校時のルート			4,000 /4,000
F:玉城西回り線	沖縄バス	市役所～系数～前川～湧稲国～船越～市役所			1,300 /1,300
G:向陽高校線（大里経由）	沖縄バス	市役所～嶺井～仲程～湧稲国～船越～向陽高校入口			800 /800
計			6	11	96,000 /96,000

※上段が2025年4月（沖縄バス再編）、下段が2025年12月（東陽バス再編）

支線バスの事業費は、路線別の年間の走行キロに燃料費を乗じ、人件費及び車両費は各系統で共有しているため、全体の費用を年間の走行キロで按分して路線毎に割り当てて算出しています。

(2) 幹線バス・デマンド交通

- 幹線バスの事業費は、減便により 2025 年 4 月（沖縄バス再編）の 75,000 千円/年から、2025 年 12 月（東陽バス再編）は 73,400 千円/年と 1,600 千円/年減少します。
- 全体の事業費は、2025 年 4 月（沖縄バス再編）の 203,900 千円/年から、2025 年 12 月（東陽バス再編）は 202,300 千円/年へと 1,600 千円/年減少します。

表 5-2.2025 年 12 月(東陽バス再編)見直し時の幹線バス・デマンド交通・全体の事業費

区分	系統番号	運行主体	運行区間	車両	運転手	事業費(千円)
幹線バス	37 番系統	東陽バス	那覇 BT~馬天入口~新里~馬天営業所・南城市役所	13	23	7,000 /5,400
	38 番系統	東陽バス	那覇 BT~馬天入口~志喜屋			3,500 /3,500
	338 番系統	東陽バス	那覇 BT~馬天入口~斎場御嶽入口	5	9	4,800 /4,800
	39 番系統	沖縄バス	那覇 BT~馬天入口~南城市役所			5,000 /5,000
	339 番系統	沖縄バス	結の街~那覇 BT~南城市役所			4,700 /4,700
	40 番系統	沖縄バス	那覇 BT~大城・南城市役所	4	8	7,300 /7,300
	309 番系統	沖縄バス	結の街~那覇 BT~大城・南城市役所			12,000 /12,000
	51 番系統	琉球バス	那覇 BT~稲嶺十字路~玉城中学校前~百名 BT	13	20	14,500 /14,500
	50 番系統	琉球バス	那覇 BT~向陽高校~中山~百名 BT・南城市役所			11,200 /11,200
	36 番系統	沖縄バス	糸満 BT~仲程~馬天入口~南城市役所	他系統と運用		5,000 /5,000
		小計			35	60
デマンド交通	おでかけなんじい	鏡原第一交通	久高島を除く南城市内全域	3	6	32,900 /32,900
支線バス(P5より再掲)		沖縄バス				96,000 /96,000
計				44	77	203,900 /202,300

※幹線バスの事業費は、走行キロに走行キロ当たりの運行経費を乗じて算出しています。

※上段が 2025 年 4 月再編(沖縄バス)、下段が 2025 年 12 月再編(東陽バス)

2.2 再編事業の収入見込み

- 2025年12月（東陽バス再編）の見直しでは、利用者が多い朝夕の便数はおおむね維持しつつ、利用者が少ない時間帯での減便を行うことから、利用者数の減少は限定的であり、幹線バスの収入は見直し前と同じ158,200千円/年を見込んでいます。

表 6.再編事業の収入見込み

区分	収入見込み（千円/年）		増減
	2025.4 （沖縄バス再編）	2025.12 （東陽バス再編）	
支線バス	42,300	42,300	±0
幹線バス	158,200	158,200	±0
デマンド交通	4,600	4,600	±0
計	205,100	205,100	±0

2.3 収支の見込み

（1）支線バス

- 支線バスの収支は、特に変更はなく、赤字額は見直し前と同額の53,700千円/年を見込んでいます。

表 7.支線バスの収支見込み

系統名	収入(千円)			支出(千円)			収支(千円)		
	2025.4	2025.12	増減	2025.4	2025.12	増減	2025.4	2025.12	増減
A1: 佐敷・知念・百名線									
A2: 百名・知念・佐敷線	19,400	19,400	0	33,000	33,000	0	▲ 13,600	▲ 13,600	0
B1: 佐敷・ニライカナイ橋・つきしろ線									
B2: つきしろ・ニライカナイ橋・佐敷線	7,200	7,200	0	26,300	26,300	0	▲ 19,100	▲ 19,100	0
B3: つきしろ線	100	100	0	300	300	0	▲ 200	▲ 200	0
C1: 玉城・大里線									
C2: 大里・玉城線	12,100	12,100	0	28,500	28,500	0	▲ 16,400	▲ 16,400	0
D1: 玉城東回り線	900	900	0	1,800	1,800	0	▲ 900	▲ 900	0
D2: 玉城東回り線(向陽高校経由)	2,100	2,100	0	4,000	4,000	0	▲ 1,900	▲ 1,900	0
F: 玉城西回り線	400	400	0	1,300	1,300	0	▲ 900	▲ 900	0
G: 向陽高校線(大里経由)	100	100	0	800	800	0	▲ 700	▲ 700	0
計	42,300	42,300	0	96,000	96,000	0	▲ 53,700	▲ 53,700	0

(2) 幹線バス

●幹線バスの収支は、減便により支出が削減されることで、黒字額は、2025年4月（沖縄バス再編）の83,200千円/年から、2025年12月（東陽バス再編）は84,800千円/年へと1,600千円/年改善される見込みです。

表 8.幹線バスの収支見込み

系統名	収入(千円)			支出(千円)			収支(千円)		
	2025.4 沖縄バス再編	2025.12 東陽バス再編	増減	2025.4 沖縄バス再編	2025.12 東陽バス再編	増減	2025.4 沖縄バス再編	2025.12 東陽バス再編	増減
37番系統	13,800	13,800	0	7,000	5,400	▲ 1,600	6,800	8,400	1,600
38番系統	22,500	22,500	0	3,500	3,500	0	19,000	19,000	0
338番系統	26,800	26,800	0	4,800	4,800	0	22,000	22,000	0
39番系統	30,000	30,000	0	5,000	5,000	0	25,000	25,000	0
339番系統	5,000	5,000	0	4,700	4,700	0	300	300	0
40番系統	13,500	13,500	0	7,300	7,300	0	6,200	6,200	0
309番系統	9,000	9,000	0	12,000	12,000	0	▲ 3,000	▲ 3,000	0
51番系統	13,000	13,000	0	14,500	14,500	0	▲ 1,500	▲ 1,500	0
50番系統	23,900	23,900	0	11,200	11,200	0	12,700	12,700	0
36番系統	700	700	0	5,000	5,000	0	▲ 4,300	▲ 4,300	0
琉球バス交通	36,900	36,900	0	25,700	25,700	0	11,200	11,200	0
沖縄バス	58,200	58,200	0	34,000	34,000	0	24,200	24,200	0
東陽バス	63,100	63,100	0	15,300	13,700	▲ 1,600	47,800	49,400	1,600
計	158,200	158,200	0	75,000	73,400	▲ 1,600	83,200	84,800	1,600

(3) デマンド交通

●デマンド交通の収支は、運行計画に変更がないことから、2025年4月（沖縄バス再編）と同額の28,300千円/年の赤字となります。

表 9.デマンド交通の収支見込み

区分	収入(千円)	支出(千円)	収支(千円)
2025.4(沖縄バス再編)	4,600	32,900	▲ 28,300
2025.12(東陽バス再編)	4,600	32,900	▲ 28,300

(4) 収支のまとめ

●2025年12月(東陽バス再編)の収支は1,400千円/年の黒字から、3,000千円/年の黒字へと1,600千円/年改善される見込みです。

表 10.2025年12月(東陽バス再編)の収支見込みのまとめ

	収入			支出			収支		
	2025年4月 (沖縄バス再編)	2025年12月 (東陽バス再編)	増減	2025年4月 (沖縄バス再編)	2025年12月 (東陽バス再編)	増減	2025年4月 (沖縄バス再編)	2025年12月 (東陽バス再編)	増減
支線バス	42,300	42,300	0	96,000	96,000	0	▲ 53,700	▲ 53,700	0
幹線バス	158,200	158,200	0	75,000	73,400	▲ 1,600	83,200	84,800	1,600
デマンド交通	4,600	4,600	0	32,900	32,900	0	▲ 28,300	▲ 28,300	0
計	205,100	205,100	0	203,900	202,300	▲ 1,600	1,200	2,800	1,600

2.4 2025年12月(東陽バス再編)の評価のまとめ

●2025年12月(東陽バス)の再編により、幹線バスが減便されることで、総走行台キロは、2025年4月(沖縄バス再編)の98万8千km/年から、98万1千km/年へと7千km/年減少します。

表 11.2025年12月(東陽バス再編)での総走行台キロの変化

	台キロ		
	2025年4月 (沖縄バス再編)	2025年12月 (東陽バス再編)	増減
支線バス	651,000	651,000	0
幹線バス	337,000	330,000	▲ 7,000
計	988,000	981,000	▲ 7,000